

「育てよう 歴史を守る 防火の心」 法明寺 鬼子母神堂で3年ぶりに消防演習



令和6年1月26日（金）の文化財防火デーに、豊島消防署は、「育てよう 歴史を守る 防火の心」をスローガンに、国指定有形重要文化財の「法明寺 鬼子母神堂」において、3年ぶりの消防演習を実施しました。

演習は、本堂から出火したことを想定し、来館者の避難誘導、重要物品の屋外への持ち出し、消火を鬼子母神自衛消防隊、消防団（5・7分団）、消防隊が一体となって行いました。

一日大隊長を務めた法明寺の近江住職の「放水はじめ」の掛け声とともに始められた、迫力ある一斉放水には、見学に訪れた約50名の保育園児や参詣者から、大きな歓声や拍手が沸き起こりました。

豊島消防署では、今後とも、文化財を火災から守る防火の心を地域の皆様と共に育てて参ります。